



代っ子通信

令和7年7月9日
<第18号>
校長 平塚智康

代小トーク ~コミュニケーション力を高める!~

山代小学校では、昨年度から「代小トーク」という活動に取り組んでいます。「代小トーク」は、子どもたちのコミュニケーション力を高めるとともに、子どもたち相互の関係性（リレーション）を紡ぎ、人間関係を豊かにすることやソーシャルスキルを高めることなどを目的として行う短時間のグループワークです。毎週火曜日、5限目の前の10分間、1～6年生の全学級で実施しています。グループワークの内容は、「二者択一」「アドジャン」「1分間スピーチ」の3種類です。どんなグループワークなのか、ぜひお子さんに聞いてみてください。

人間関係づくりの基本は、コミュニケーションにあります。コミュニケーション力を高めることは、対話的・協働的な学習を促し学力向上に資するばかりでなく、幸せな自分的人生を切り拓くことにつながるものである、と私は考えています。子どもたちが自分自身の力で、well-being（ウェルビーイング＝幸せ）をつかむことができるよう、代小トークの取組を充実させていきたいと思っています。



「みみずくの会」による朝の読み聞かせ

「みみずくの会」は、山代小学校の読み聞かせボランティアの団体で、その歴史は二十数年になるそうです。会員は、皆さん山代小学校 PTA の卒業生で、現在会員は 7 名おられます。（現役の PTA 会員さん 1 名）毎月 1 回、朝自習の時間に、1・2 年生への読み聞かせをしていただいております。本当にいつもありがとうございます。

ミニズクは「森の賢者」とも称されます。読み聞かせによって本に親しんでもらい、賢い代っ子に成長していってほしいという願いをこめて、「みみずくの会」と名付けられたそうです。深くて、すてきなネーミングですよね。読み聞かせの会員は、多いときは 30 人ほどおられたということですが、年々減少しているそうです。現 PTA 会員や卒業生の方で、読み聞かせに協力してもいいよという方がおいでましたら、学校（教頭）までご連絡ください。



6年生 着衣泳～水の事故から自分の命を守る～

7月4日（金）、加賀市消防本部水難救助隊の方々を講師にお招きし、6年生の「着衣泳」を実施しました。「着衣泳」は、川や海で水の事故にあったことを想定し、服やズックを身に着けたままプールに入り、救助が来るまで水に浮かんで待ち、自分の命を守るという訓練です。

服を着たままプールに入った子どもたちは、その重さや動きにくさに四苦八苦。最初は、浮き輪代わりのペットボトルをラッコのように胸に抱え背浮きの練習です。次に、ペットボトルなしで背浮きに挑戦です。中には、背浮きのまま手足をカエルのように動かしながら移動するというテクニックを身につけられた子どもたちもいました。最後に、今日の訓練のまとめとして、5分間背浮きをして救助が来るのを待つ練習です。さすが6年生、半数以上の子どもたちが5分間の背浮きができました。この夏、川や海に出かけることもあると思いますが、水の事故には十分お気をつけください。

